

製品安全データシート  
MATERIAL SAFETY DATA SHEET

SAMPLE

1.製品 製造	化学族 化学名 化学成分	ステンレス鋼 鋼種 : SUS304																
2.組成、成分情報		<table border="1"><tr><td>C</td><td>0.08以下</td></tr><tr><td>Si</td><td>1.00以下</td></tr><tr><td>Mn</td><td>2.00以下</td></tr><tr><td>P</td><td>0.045以下</td></tr><tr><td>S</td><td>0.030以下</td></tr><tr><td>Ni</td><td>8.00~10.50</td></tr><tr><td>Cr</td><td>18.00~20.00</td></tr><tr><td>Fe</td><td>残分</td></tr></table> CAS. No. 7440-02-0 (Ni) 第一種指定化学物質 政令番号 第231(Ni) CAS. No. 7440-47-3 (Cr) 第一種指定化学物質 政令番号 第68(Cr)	C	0.08以下	Si	1.00以下	Mn	2.00以下	P	0.045以下	S	0.030以下	Ni	8.00~10.50	Cr	18.00~20.00	Fe	残分
C	0.08以下																	
Si	1.00以下																	
Mn	2.00以下																	
P	0.045以下																	
S	0.030以下																	
Ni	8.00~10.50																	
Cr	18.00~20.00																	
Fe	残分																	
3.危険有害性	一般的な環境下では現在のところ危険有害性に関する有用な情報なし。 但し、重量物のため転倒、転がり、荷崩れ等に十分な注意を要する。 又、切断端面及び切削屑等は皮膚を傷つける場合がある。さらに、溶接、溶断等に 伴う*ヒュームや研磨等による微粉は呼吸器、目他の粘膜を刺激する場合があります、ア ークは火傷を起こす場合がある。																	
4.応急措置	*ヒューム等による呼吸困難を起こした場合は、呼吸補助をし、速やかに医師の診断を受ける *アーク等により火傷をした場合は、患部を冷やし、必要に応じて医師の手当を受ける。 *ヒューム、微粉等が目他の粘膜を刺激する場合は、水で洗い流し、速やかに医師の診断を 受ける。 *切断端面及び切削屑等で皮膚を傷つけた場合は、傷口の清潔を保ち、必要に応じて医師の 手当を受ける。  上記は、応急措置の例である。応急措置の後、必要に応じて医師の診断を受けること。																	
5.火災時の措置	微粉は燃焼、爆発性を有する場合がある。																	
6.漏出時の措置	現在のところ有用な情報なし。																	
7.取り扱い及び 保管上の注意	不必要な水濡れ、酸との接触、高温多湿の環境を避ける。 移動時、落下転倒等に注意する。																	
8.暴露防止及び 保護措置	一般的な環境下では、現在のところ暴露防止及び保護措置に関する有害な情報なし。 但し、溶接、切断、研削、切削等の際はヒュームの吸引、粘膜の刺激や、アーク、切削屑を 防止するマスク、めがね、手袋、作業着等を使用する。																	
9.物理的及び 化学的性質	物理的状态 一般的な環境下では、銀白色の固体 融点 : 1398~1435°C 密度 : 7.93kg/cm <sup>3</sup>																	
10.安定性及び 反応性	一般的な環境下では、安定しており、反応性は小さい。 但し、水や酸化性物質との接触により錆を生成する場合がある。 このとき、酸欠、水素発生をとまなうことがある。																	
11.有害性情報	現在のところ有害性に関する有用な情報なし。																	
12.環境影響情報	現在のところ環境情報に関する有用な情報なし。 但し、合金成分の一部には、単体元素としては有害性が指摘されている場合がある。 環境影響情報は、例えば、許容濃度提案理由書(日本産業衛生学会)、ICSC(厚生省生活衛生 局監修)などから得られる。																	
13.廃棄上の注意	基本的に法的に許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。 付着物がある場合には、この点にも注意する。																	
14.輸送上の注意	重量物の場合は、荷崩れに注意する。 雨水等の浸透を防ぐためシート等の被覆をすることが望ましい。																	
15.適用法令	特になし																	